

経済指標ウォッチャー

米ISM製造業景況感指数の改善は続く

予想以上にウイルス感染拡大の影響は小さい

ISM製造業景況感指数とは？

全米供給管理協会（ISM）が製造業の購買担当者へのアンケート調査結果をもとに、毎月公表している米国の製造業の景況感を示す指標のひとつ。米国の主要指標の中で最も早い毎月第1営業日に発表され、景気先行指数として非常に注目度が高い。50が景気の拡大・後退の分岐点であり、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気後退を示す。

2020年8月は市場予想を上回る

全米供給管理協会（ISM）が9月1日に発表した、2020年8月の製造業景況感指数は、56.0と前月の54.2から1.8ポイント改善しました（図表1）。事前予想（54.8）も上回り、3ヵ月連続で好況・不況の節目である50を超えています。

新型コロナウイルスの感染が再拡大していることもあり、市場では改善ペースの鈍化が予想されていましたが、製造業の景況感は予想以上に強いことが示されました。

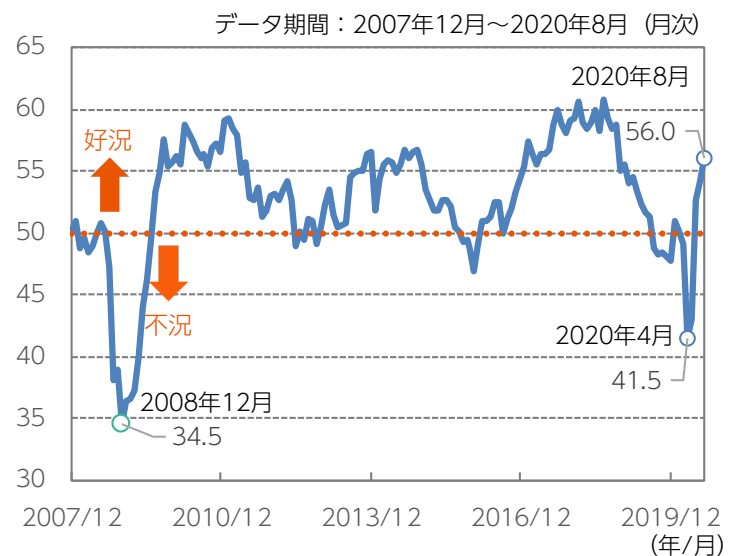
新規受注と生産は改善、雇用は低調

主な構成指数では、新規受注が67.6（前月比+6.1）、生産が63.3（同+1.2）と改善が続いています。新規受注は2004年1月以来の高水準であり、経済活動の正常化の動きが継続しているものと思われます（図表2）。一方で、8月27日にパウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長が今後重点を置くと発言した雇用は46.4（同+2.1）と改善はみられましたが、節目の50を下回っています。

製造業景況感は引き続き堅調な推移を見込む

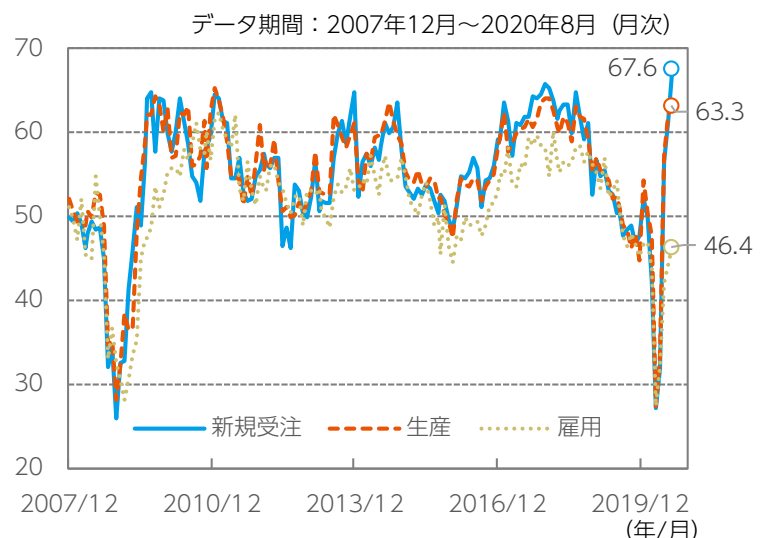
足元の高い失業率や新型コロナウイルス感染再拡大などの不安材料は多いものの、在庫の圧縮が進んでいることから、製造業景況感は今後新規受注や生産を中心に引き続き堅調に推移することが予想されます。

図表1：製造業景況感指数は改善



※ISM製造業景況感指数の推移

図表2：新規受注が好調維持、雇用は低調



※ISM製造業景況感指数（構成指数）の推移

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>